

II 設備(13. 給排水設備) ①重要項目の解説

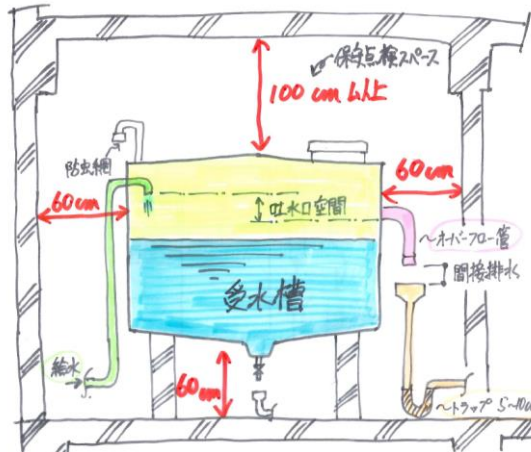
「13. 給排水設備」の問題は、多義に渡り出題されるので絞り込み難い一面がある。

その中でも、2回以上繰り返し出題されている重要項目(H8～H27)を以下に示す(出題問題一覧表の色分けと連動)。

(1) 受水槽の点検

※過去に選択肢問題として受水槽点検が6回、受水槽が4回出題有

- ・受水槽の保守点検スペースは、底部及び周囲にそれぞれ60cm、上部に100cmのスペースを確保する。
- ・受水槽の材質については、強化プラスチック・鋼板・ステンレス鋼板・木などがあり、使用目的に応じて選定する。
- ・受水槽や高置水槽のオーバーフロー管及び水抜管は、排水の逆流を防ぐため、**間接排水**とする。



(2) トラップ

※過去に選択肢問題として5回出題有

- ・衛生器具のトラップは、**二重**トラップとしてはならない。
- ・排水トラップの封水深は、トラップ口径の大きいものほど大きくするのではなく、**5～10cm**の範囲内とする。

(3) 給水圧力

※過去に選択肢問題として5回出題有

- ・給水圧力は、シャワーヘッドが**70kPa**、大便洗浄弁が**70kPa**、一般水栓が**30kPa**である。
- ・高置水槽の低水位面までの高さは、シャワーヘッドと大便洗浄弁が**7m**以上、一般水栓が**3m**以上必要である。

(4) 排水再利用水

※過去に選択肢問題として5回出題有

- ・排水再利用水は、大腸菌が検出されなくても飲料水には**使用しない**。
- ・原水にし尿が含まれていない**再利用水**を、便所洗浄水、散水用水、清掃用水に利用した。
- ・排水再利用水の**原水**には、手洗い・洗面器及び湯沸室の排水は利用でき、更に厨房の排水も利用できる。

(5) レジオネラ菌

※過去に選択肢問題として4回出題有

- ・レジオネラ菌の繁殖を避けるためには、貯湯槽内で**60℃**以上、末端の給湯栓でも**55℃**以上に保つ必要がある。

(6) 雨水排水立て管

※過去に選択肢問題として3回出題有

- ・雨水立て管は、**単独**として通気管に連結してはならない(汚水排水管との連結もしてはならない)。

(7) バキュームブレイカー

※過去に選択肢問題として3回出題有

- ・逆サイホン作用で逆流のおそれがある大便器洗浄弁やホース接続する散水栓には、**バキュームブレイカー**を設ける。
- ・バキュームブレイカーは、排水管内に空気を吸引して真空を防止し、汚水等の**逆流を防止**する器具である。

(8) 節水こま入り水栓

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・節水こま入り給水栓は、こまの底部の大きさを、普通こまより小さくした節水こまによって、**節水**を図る水栓である。